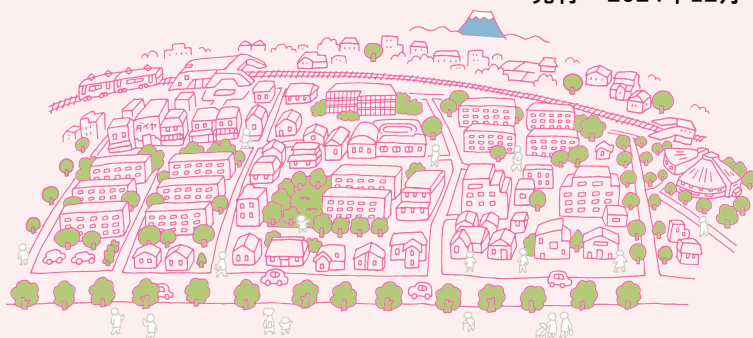


まちづくり ニュース 4号



01

富士見台地域重点まちづくり構想に基づく

重点プロジェクトの取組紹介

人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを市民と行政の協働で進めるまちづくりの手引きとして「国立市富士見台地域重点まちづくり構想」(以下、構想)が、令和3(2021)年5月に策定されました。

構想では、富士見台地域で重点的・優先的に取り組むべき10の重点プロジェクトが定められました。本号では、最近の動きをご紹介します。



▲構想

project
01

市民まちづくりプロジェクト100 (通称：市民100プロ)

市民だれもがまちづくりに関われる参加の仕組みをつくるプロジェクトで、その実現に向けて「クラブサバーブ」という企画が進められています。20～30代を中心とした参加者が、全5回(8～11月)のワークショップを通して、自分視点でのまちを面白くするアイデアをチームで企画にし、実践の場である「ヤミイチ」でカタチにしました。

クラブサバーブ2024

～まちのはじまりをカタチにする～



▲チラシ

裏面の

02

でさらに紹介

project
07

UR国立富士見台団地をモデルとした 支え合いの仕組みづくりプロジェクト

project
08

UR国立富士見台団地をモデルとした 住みたくなる、住み続けられる環境整備 プロジェクト

住み続けられる、住みたくなるこれからの国立富士見台団地を目指して、お住まいの皆様と丁寧に情報共有し、ご意見をお伺いする場として、「**団地の暮らしを考える座談会**」が開催され、話し合いが進められています。

団地の暮らしを 考える座談会



▲座談会の様子

裏面の

03

でさらに紹介

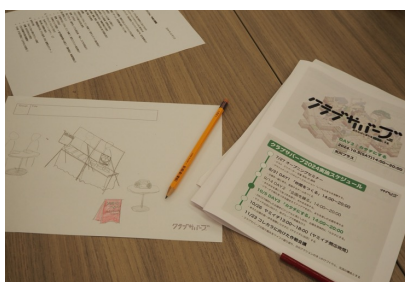
「クラブサバーブ2024」の開催レポート

～まちづくりワークショップの中で「ヤミイチ」へチャレンジ出店が開催されました～

今年のクラブサバーブでは、個性豊かな4つの企画が生まれ、早くもまちとの接点や活動の継続についての検討が始まっている企画もあるようです。

2024年10月26日（土）のヤミイチ（矢川プラス）で披露された企画は、子どもから大人まで楽しめるものばかりで、どのブースも盛り上がっていました。

DAY1-DAY3 | 仲間づくり／企画をカタチへ



DAY4 | ヤミイチに出店



クラブサバーブの様子は、
国立市YouTubeチャンネルで公開中！
ぜひご覧ください



「団地の暮らしを考える座談会」の開催レポート

～座談会は新たな段階に変わります～

会合	日時	テーマ
準備会①	R6.4.21(日)	団地の暮らしを語ろう！
準備会②	R6.4.23(火)	
第1回座談会	R6.6.18(火)	住み続けられる・住みたくなる住棟・住まいについて（その1）
第2回座談会	R6.8.20(火)	住み続けられる・住みたくなる住棟・住まいについて（その2）
第3回座談会	R6.10.29(火)	これまでの取り組みのまとめ・今後の進め方

開催済み
座談会
暮らしの課題とニーズを
しっかりお聞きする場



今後開催予定
座談会
具体的な改善プランを
検討する場

団地居住者による話し合いが5回開催されました。座談会は、これまでの暮らしの課題とニーズをしっかりお聞きする内容から、具体的な改善プランを検討する内容に変わります。

なお、検討の内容が変わることを受け、URによる団地居住者向けの説明会が開催される予定です。（※）説明会は団地居住者が対象です。

国立市
ホームページで
発信中です



【問合せ先】 国立市 都市整備部 富士見台地域まちづくり担当（担当：三澤・布施）

TEL：042-576-2111(内線383) / FAX：042-576-0264 / E-mail：sec_fuji@city.kunitachi.lg.jp